

(20〇年〇月〇日受稿 20〇年〇月〇日受理) (MS 明朝、9pt/左寄せ: 投稿時は未記載)
< 1行アケル >

【投稿区分】 (MS 明朝、10.5pt: 投稿希望の区分を記載)

< 1行アケル >

タイトル (MS 明朝&Century、14pt/センタリング)

——副題—— (MS 明朝&Century、12pt/センタリング)

< 1行アケル >

人間^{にんげん}学^{まなぶ} (MS 明朝、12pt/右寄せ: ひらがなルビ) (所属・肩書き) (MS 明朝、9pt/右寄せ)
E-mail: @ (MS 明朝、9pt/右寄せ)

< 1行アケル >

< 1行アケル > (章タイトルの前後1行をアケル) 2-4. (MS ゴシック、9pt)

1. はじめに (MS ゴシック&Century、9pt)

< 1行アケル > (章タイトルの前後1行をアケル)

本文開始・・・ (MS 明朝&Century、9pt)

< 1行アケル >

< 1行アケル >

2. OOOO (MS ゴシック、9pt)

< 1行アケル >

< 1行アケル >

2-1. (MS ゴシック、9pt)

章・節等タイトルについては、以下のように分かりやすく構造化して表記することが望ましい。

例: 章 節 項

1. →1-1 →1-1-1 ...

3-2. (MS ゴシック、9pt)

なお、各投稿者の依拠する分野の執筆慣例等によって上記と異なるスタイルの番号付けを行うことを禁じるものではない。

(タイトルは MS ゴシック&Century、9pt)

図表のタイトル: 同上

3-3. (MS ゴシック、9pt)

- ・図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に記載する
- ・図表は挿入したい箇所に、掲載したい大きさと貼り付け、投稿時に元データを別途添える

3-4. (MS ゴシック、9pt)

2-2. (MS ゴシック、9pt)

(節・項のタイトルについては前後とも< 1行アケル >は行わない/続けて記載)

2-3. (MS ゴシック、9pt)

< 1行アケル >

4. おわりに

< 1行アケル >

段末にタイトルが来てしまう場合には、空白行を挿入し、次段冒頭にタイトルが来るようにする。

① **段組み**：本文は2段組み（23字×50行／1頁あたり2,300字）

段間の間隔等の詳細はこのフォーマットの通りとする¹⁾。（注記番号は1)2)3)・・・の上付き処理）

② **字数**：図表を含めて「2万字」

③ **刷り上がり頁**：図表を含めて「10頁以内」

（ただし、原著は要旨・鍵用語〔和文・英文〕等を掲載するページが追加されます）

（紀要第37号をご参照ください）

④ **英文タイトル**：例えば以下の翻訳ソフト2種を参照に作成して下さい。

Google 翻訳

<https://translate.google.co.jp/>

DeepL 翻訳

<https://www.deepl.com/ja/translator>

*他に不明なことは編集委員会に問い合わせること。

~~~~

巻末の例

（紀要第37号をご参照ください）

**謝辞**（MS ゴシック&Century、9pt）

〇〇氏に記して感謝申し上げます。（MS 明朝、9pt）

**注**（1文字下げ：MS ゴシック、9pt）

1)（1文字下げ：MS 明朝&Century、9pt）

2)

3)

**文献**（1文字下げ：MS ゴシック、9pt）

・筆者の50音順またはアルファベット順に並べる。

・同一著者が続く場合は発行年順とする。

（1文字下げ：MS 明朝&Century、9pt）

